

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
情報	6 年次	情報の科学	2 単位	最新 情報の科学 (実教出版)

科目のねらい

情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させるとともに、情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させ、情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。
B	思考・判断・表現	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。
C	技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。
D	知識・理解	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	Unit 1 「情報社会の問題解決」 (2) 問題解決とコンピュータの活用 [ア] (4) 情報技術の進展と情報モラル [ア][イ][ウ]	Excel によるデータベース関数を習得し、APA スタイルでの図表作成／論文作成などの科学的姿勢を身につける。 【観点 A, B, C, D】
後期	Unit 2 「情報とコンピュータ」 (1) コンピュータと情報通信ネットワーク [ア][ウ] (2) 問題解決とコンピュータの活用 [ア][イ]	デジタル化の基礎知識と Python プログラムにより、システム作成と問題解決の手法を習得する。 【観点 A, B, C, D】
	Unit 3 「問題解決のためのコンピュータ活用」 (1) コンピュータと情報通信ネットワーク [イ] (2) 問題解決とコンピュータの活用 [ウ] (3) 情報の管理と問題解決 [ア][イ][ウ]	データベース管理とモデル化、シミュレーションによる問題解決の手法を習得する。また、統計的仮説検定の考え方についても習得する。 【観点 A, B, C, D】